



効果的な広報の展開



みどりアップ計画の取組内容や実績について、様々な方法で広報しています。

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績概要リーフレットの自治会・町内会回覧
- 鉄道・バスなどの交通広告
- イベントによるPR
- メールマガジンやSNSによる情報配信

電車やバスの広告



横浜みどりアップ 葉っぴー



広報よこはま



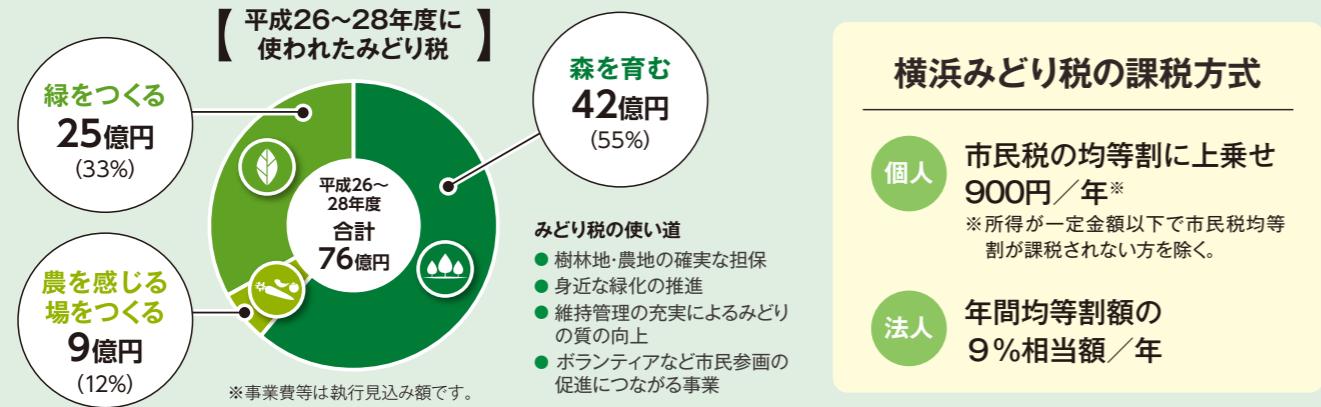
イベントによるPR(保土ヶ谷区)

PRアニメーションの映画館等での上映

PR動画の作成・活用

事業費と横浜みどり税(平成26~28年度の累計)

平成26~28年度の事業費278億円のうち、76億円にみどり税を活用させていただきました。



横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画の評価、提案、市民の皆さんへの情報提供をする、市民参加の組織です。現地調査や会議を実施し、計画の推進に向けた評価・提案などを毎年報告書としてまとめています。

市民推進会議

検索 ↗

現地調査「みどりアップを見に行こうツアー」(青葉区)▶



広報誌
「みどりアップ Q」

「横浜みどりアップ計画」の事業報告書及び計画書は、次の場所で閲覧できます

- 各区役所広報相談係
 - 市民情報センター(市庁舎1階)
 - 環境創造局政策課
- 環境創造局のウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>

問合せ

- 「横浜みどりアップ計画」について ▶ 環境創造局政策課 TEL 045-671-4214 FAX 045-641-3490
 「横浜みどりアップ計画」の各事業について ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 TEL 045-671-2712 FAX 045-224-6627
 「横浜みどり税」について ▶ 各区役所税務課又は財政局税務課 [財政局税務課] TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画

計画期間
平成26-30年度

3か年の実績 概要(平成26~28年度)

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、

「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

平成26~28年度に実施した事業の概要をご報告します。



横浜みどりアップ計画

横浜みどりアップ計画 3か年の成果と実績ダイジェスト(平成26-28年度)



取組の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

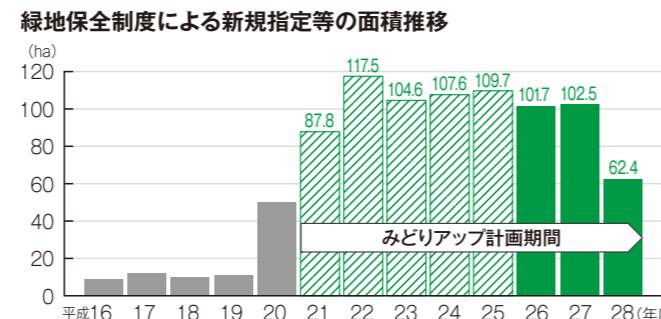
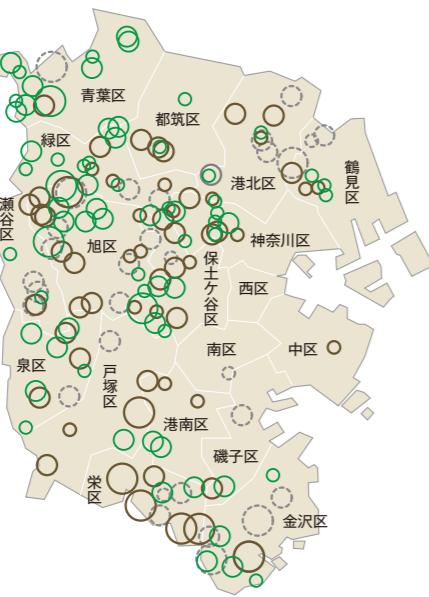
森の保全が進展 266.6ha保全 67.0ha買取り

特別緑地保全地区、市民の森などの制度による指定を積極的に進めました。また、特別緑地保全地区などの指定地区で、土地所有者の不測の事態などによる買入れ申し出に、着実に対応しました。

緑地保全制度による指定の拡大

緑地保全制度により指定された主な樹林地
(特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区)

- 1ha未満
- 1ha以上10ha未満
- 10ha以上
- みどりアップ計画以前
- みどりアップ計画期間 H21~25年度
- みどりアップ計画期間 H26~28年度



緑地保全制度による指定とは

市内に残る森の多くは民有地であることから、所有者の方ができるだけ長く持ち続けられるように、緑地保全制度による指定を行い、税の軽減や維持管理などの面から支援を行っています。

森への関わりが広がり、深まる

「横浜市森づくりガイドライン」や「保全管理計画」を活用した維持管理により良好な森づくりを進めました。また、イベントなどをきっかけとして森に関わる市民の裾野が広がるとともに、森づくりの研修などを通じて森を育む人が育っています。



専門家派遣による研修(磯子区)



森の中のプレイパーク(瀬谷区)

森づくり活動団体への支援 のべ107団体

市民の森や都市公園内の樹林等で活動する団体に対して、森づくり活動を支援

森づくりガイドライン等を活用した森の育成 維持管理した森 のべ404か所

森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全に配慮した森づくりを推進

樹林地維持管理助成 318件

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援

森の楽しみづくり イベントやクラフト教室 345回

● よこはま森の校舎

市内の大学と連携し、多様な環境活動や地域特性を生かした自然体験学習を実施

● 森の中のプレイパーク

子どもが木とふれあい、遊びを通して横浜の森について考える心を育てるためのイベントを実施

● みどりアップ健康ウォーキング

樹林地保全への关心と理解を深めながら、健康増進を図るウォーキングを実施

ウェルカムセンターの運営

森の情報を発信し森の魅力を伝える「ウェルカムセンター」を5館運営



取組の柱2

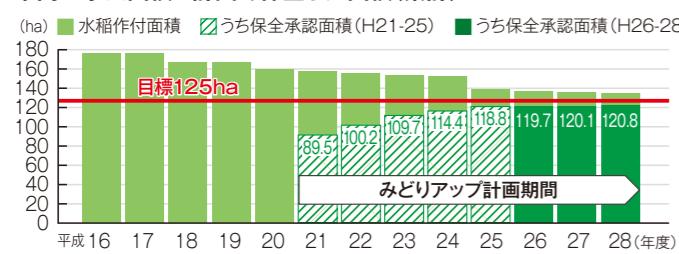
市民が身近に農を感じる場をつくる

市内の水田の9割を保全 120.8ha保全

貴重な農景観である水田の減少を食い止めるため、水稻作付の10年間継続を条件に土地所有者へ奨励金を交付しました。

水田の保全

市内の水田面積と計画で保全した面積(累計)



保全された水田(栄区)

農とのふれあいの場が着実に増加

市民ニーズに応じた多様な農園の開設のほか、直売所等への支援や農体験教室の開催を進めました。

様々なニーズに合わせた農園の開設

収穫体験から本格的な農作業まで、多様な農園の開設支援や整備を推進 15.9ha

開設支援した市民農園(戸塚区)▶



地産地消にふれる機会の拡大

地域でとれた農畜産物などの直売所の整備等や青空市の運営支援 直売等の支援 25件

みなとみらい農家朝市(西区)▶



農体験教室などの実施

家族で学ぶ農体験教室など、市民が農とふれあう機会を提供 農体験教室等 270回

もち米づくり教室(旭区)▶



農景観を良好に維持する取組の支援

周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、農業者団体が実施する維持・管理の取組を支援

723.0ha



良好に維持されている農地(泉区)



取組の柱3

市民が実感できる緑をつくる

緑のまちづくりが進展 35地区

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民と協働して進めました。



実施後



緑や花で街の賑わいを創出

都心臨海部において、緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開しました。

リョクカ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり



山下公園の緑花(中区)

港の見える丘公園の緑花(中区)

公共施設・公有地での緑の創出

各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進

56か所



保育園での芝生の整備(都筑区)

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

子どもを育む空間において、多様な緑を創出

118か所